

## 「FLY Program 5周年報告会」について

2013年に『東大版ギャップイヤー制度』として始まった「初年次長期自主活動プログラム（英文名称：FLY Program (Freshers' Leave Year Program)）」は、これまで延べ31名が修了し、現在は5期生が活動しています。

本プログラムの創設5周年に当たり、このたび活動報告会を開催することとなりました。本報告会では、本プログラムの経験が大学生活や進路に与えた影響等について第1期生より報告するとともに、第1期生から第4期生までが参加する座談会を行います。また、本プログラム創設を主導いただいた濱田前総長から総評いただくことも予定しております。

参考：FLYProgramとは

FLY Programとは、入学した直後の学部学生が、自ら申請して1年間の特別休学期間を取得したうえで、自らの選択に基づき、東京大学以外の場において、ボランティア活動や就業体験活動、国際交流活動など、長期間にわたる社会体験活動を行い、そのことを通じて自らを成長させる、自己教育のための仕組みです。

「プログラム」といっても、大学から与えられたパッケージのプログラムではなく、その活動内容は学生自身の主体的な判断によって決定されます。

欧米の大学では、入学前などの時期に、こうした「寄り道」を認める「ギャップイヤー」と呼ばれる仕組みが普及・定着しています。東京大学の本取組は、これに準じた、日本における先導的な試みの一つです。東京大学の教育改革の一環として、FLY Programは重要な意義を持つものであり、後援くださる企業・団体をはじめ、各界から大きな期待が寄せられています。

初年次長期自主活動プログラム (FLY Program)  
5周年活動報告会 式次第

日 時：平成 29 年 10 月 30 日 (月) 17 時 00 分～

場 所：駒場 I キャンパス 数理科学研究科棟大講義室

- 一. 開会挨拶 (石井 洋二郎 理事・副学長)
  
- 一. 五神 真 総長挨拶
  
- 一. 修了生報告 1 期修了生 (1 名)
  
- 一. 修了生座談会「テーマ：FLY Program 経験を通しての変化」  
1 期～4 期修了生 (4 名)  
ファシリテーター 藤井 輝夫 元推進委員会委員長  
中村 尚 前推進委員会委員長
  
- 一. 総 評 (濱田 純一 前総長)
  
- 一. 閉会挨拶 (石井 和之 推進委員会委員長)